学びの基盤となる【読書】

【読書】キャラクター「おっほん」



おっほんシート

# 札幌市立藻岩北小学校

## 読書センターとしての機能

### □学級文庫の活用

・本校では、多くの学級で学級文庫として一冊ずつ図書館から本を借りて、朝の準備が終わった後や給食準備中など、ちょっとした隙間時間に本を読むことで、本に親しむことができます。

### □開放図書館との連携

・開放図書館との密な連携により、子どもの図書館での過ごし方を伝え合っています。１年生を迎える会や６年生を送る会、読み聞かせなど（現在は感染対策から実施を見合わせています）を実施することで本の楽しさを知る機会を増やしています。

## 学習センターとしての機能

### □学習内容と関連した本の選定

・図書館の本の選定は、全教員から要望を聞き、学習で活用できることを基準に行っています。実際に社会科では、憲法や歴史に関する本を活用したり、国語の宮沢賢治の単元を学習した際には、「セロ弾きのゴーシュ」や「注文の多い料理店」を読み聞かせで紹介したりするなど、子ども達の学習と関連させた本を選定して置いています。

### □教科・領域ごとに分けた配置

・図書館の本は、教科や領域ごとに分けて置いてあります。これにより、調べ学習の時に早く本を探すことができたり、興味のある分野の本をまとめて読んだりすることができます。

## 情報センターとしての機能

### □みんなが探しやすい本の配置

・探したい本をすぐに見付けることができるように、棚の上には、教科や領域の名前が書かれてあります。教科以外にも、北海道に関する本や外国の本、詩の本などに分けられています。低学年も探しやすいように、絵本だけのコーナーがあったり、大人向けの本は高いところに置いてあったりするなど、探しやすい本の配置を行っています。

### □委員会によるポップの掲示

・文化委員会では、それぞれの学年ごとにおすすめの本を紹介しようとポップ作りを行っています。図書館の前に飾る事で、本に興味をもってもらうようにしています。